



私大協発第17259号
令和6年4月26日

各大学 理事長 殿
学生生活指導部（課）長

日本私立大学協会
会長 小原芳明
学生生活指導研究委員会
担当理事 木宮健二

(印影印刷)

令和6年度（通算第69回）「学生生活指導部課長相当者研修会」の開催について

春暖の候、貴大学益々ご隆昌の趣、慶賀の至りに存じます。

本協会は、昭和21年創立以来、大学教育における学生生活指導の重要性にかんがみ、「学生生活指導研究委員会」を常設して、学生の生活指導・福利厚生等全般にわたる改善・充実向上策の調査・研究・企画・立案および「学生厚生補導要領」「学生生活指導マニュアル」「学生生活指導・学生の意識および生活の実態に関する調査報告書」の作成等をおこなうとともに、加盟各大学の担当部課長相当者の資質向上に資するため、毎年「学生生活指導部課長相当者研修会」を実施してまいりました。

本年度の研修会につきましては、本協会の令和6年度事業計画に基づき、学生生活指導研究委員会において準備を進めてまいりました結果、来る7月3日（水）から4日（木）までの2日間にわたり、浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室において、以下の「開催要項」「日程（予定）」のとおり開催することといたしました。

今回は、メインテーマを『いま私たちがやるべき学生支援とは（パートⅡ）』と定め、多様化する学生のニーズにどのように対応していくかについて理解を深めるとともに、いまこそ行うべき学生支援の諸課題について、講演・班別研修等による総合研修をおこないます。

つきましては、何卒、本研修会の重要性をご斟酌いただき、学生委員長等の教員をはじめ、学生生活指導部（課）長相当者にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

なお、貴大学からの参加申し込みにつきましては、本協会ホームページ（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）の「加盟大学専用サイト」より、来る5月29日（水）までにお申し込みくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

令和6年度（通算第69回）学生生活指導部課長相当者研修会開催要項

主催 一般財団法人 私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

1. 開催趣旨

この研修会は、大学教育における学生生活指導の重要性にかんがみ、その充実向上に関する諸施策について共同研修をおこない、今後の学生の生活指導・福利厚生のあるあり方・学生支援等の改善・充実を図るとともに、学生部（課）長および相当者の資質向上に資することを目的として開催いたします。

2. メインテーマ：

「いまわたちがやるべき学生支援とは（パートⅡ）」ーいかに多様化する学生のニーズに対応するかー

3. 参加者

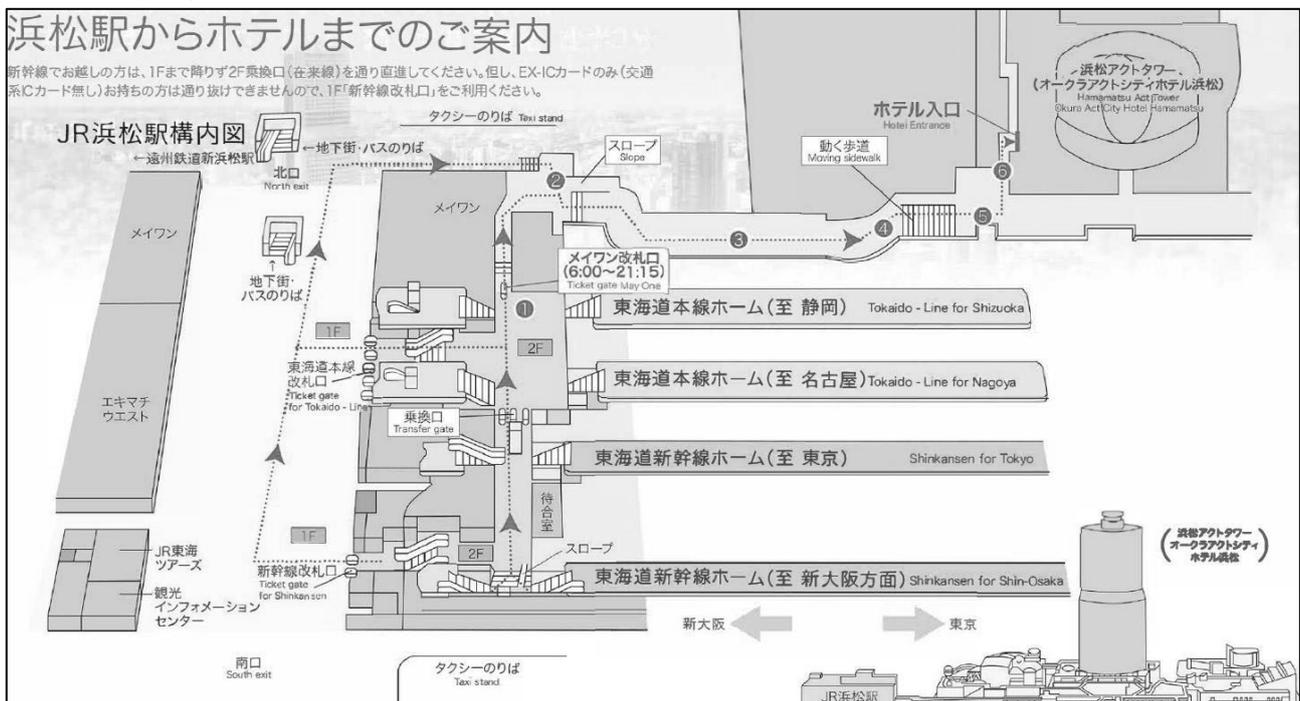
- (1) 資格 ① 各大学の学生委員長等の教員、学生生活指導部（課）長相当者。
② 各大学の役員・学長・学部長・事務局長。
- (2) 参加者数 班別研修を勘案し、1大学3名以内を原則といたします。ただし、当研修会準備運営委員は別といたします。

4. 開催日時

自 令和6年7月3日（水）13時00分開会（受付開始12時00分）
至 令和6年7月4日（木）15時50分開会

5. 研修会場

- (会場) 浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室 受付：4階「平安」
(所在地) 浜松市中区板屋町111-2（〒430-7733）
(電話) 053-459-0111（代表）
(交通) JR浜松駅メイワン改札口（東口）より徒歩3分 ※詳細はHPをご覧ください。



6. 研修日程 「日程（予定）」（5ページ）をご参照ください。

7. 班別研修

○ 班別研修の班編成は、「日程（予定）」（6ページ）に記載の4つの班による構成とし、1班20～25名程度を原則とします。ただし、班別希望人数の関係で同系列の班を複数としたり、合同としたりする場合があります。

参加申し込みの際、班別研修の希望する班を「第1希望」・「第2希望」ともにご選択ください。班別希望人数の関係で、第2希望に編成される場合があります。なお、諸準備の関係から申し込み締め切り後の班の変更には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

○ 班別研修における協議テーマとして、「日程（予定）」（6ページ）に記載の5つの課題を設けておりますので、参加申し込みの際、協議テーマに関するアンケートへのご回答をお願い申し上げます。

○ 申込時にご入力いただく大学ドメインのメールアドレスについては、班別研修の所属班の中において、共有させていただきます（記入内容に関して、後日、運営委員より連絡させていただく場合があります）。

○ 班別研修では、本年度研修会の研修課題および各大学における学生生活指導上の当面する課題・取り組み等について、情報交換・意見交換をおこないます。そのため、班別研修の際、貴大学の学生便覧・学生生活の手引き等、ご自身の参考となさるための資料を、当日、各自お持ちください。

○ 班別研修は、前年度の議論に基づき情報交換がおこなわれる場合があります。「前年度報告書」（加盟大学専用サイトでダウンロード可）をご一読のうえ、本研修会にご参加ください。

8. 「研修会参加費」について

（1）研修会参加費について

研修会に参加される場合は、（1人当たり）合計23,000円を下記の銀行口座宛にお振込みください。

（内訳）	① 研修会参加会費	14,000円
	② 情報交換会費（7月3日）	9,000円
	合計（研修会参加費）	<u>23,000円</u>

（注）①情報交換会に参加されない方は、合計金額から情報交換会費を差し引いてください。

②その他諸経費（旅費、宿泊費、食事代など）は、各自でご負担ください。

（振込先）

- | |
|---|
| ① 銀行口座：三菱UFJ銀行「神田支店」 普通預金 No. 1186469 |
| ② 名義人：イッパツダグンホジソカクケンシュウフクシカイ（ダグイョウカイ）
一般財団法人私学研修福祉会（私大協会口） |

（お願い）

① 研修会参加のお申し込みは、研修会参加費のお振込み終了後にお願い申し上げます。

② 研修会参加費納入の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。

- ③ 振込手数料については、各大学にてご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ④ 「領収書」については、お振込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。
- ⑤ 万一、研修会参加費納入後にご欠席の場合は、研修会開始7日前（6月26日）までに本協会事務局宛に電話等にてご連絡いただければ、研修会参加費（振込額）の全額を返金いたします。6月27日以降に欠席のお申し出があった場合には、研修会参加費（振込額）を返金できませんので、あらかじめご了承ください。

(2) 宿泊について

研修会期間中の宿泊については、各自でご手配ください。

(3) 食事代について

情報交換会会食（7月3日）及び、昼食（7月4日）を除き（この費用は「研修会参加費」の一部としてご納入いただきます）、すべて各自でご自由にお済ませください。

9. 研修会の申し込み方法について

- (1) 研修会参加費のお振込み終了後、本協会ホームページ (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) より「加盟大学専用サイト」にログインのうえ、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。なお、加盟大学専用サイトへのログインID・パスワードは令和6年3月に変更いたしました。詳細は各大学からご登録いただきました情報管理担当者にお問い合わせください。

- (2) 締切期日 令和6年5月29日（水）まで（厳守）

- (3) 留意事項：お申し込み後、自動返信の「申込受付」メールが送信されます。数日経過しても届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※自動返信の「申込受付」メールについては、迷惑メールとして認識される可能性もありますので、メールが届かない場合はご面倒をおかけいたしますが、迷惑メールフォルダ等もご確認ください。

- (4) 問い合わせ先

日本私立大学協会「学生生活指導部課長相当者研修会」係 (担当) 三井 渉

(TEL) 03-3261-7049

(メールアドレス) gakusei@shidaikyo.or.jp

* (問い合わせ時間) 月曜日～金曜日 9:00～17:00【原則】

10. 研修会の報告書作成について

本研修会においては、研修成果をさらに広めるため、研修会終了後、研修会報告書を作成して、本協会ホームページの「加盟大学専用サイト」に掲載いたしますので、ご活用ください。

11. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供はいたしません。

本協会は、当該研修会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の当研修会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

～注意事項～

- 全体研修・班別研修中の録音・録画・撮影は、原則禁止とさせていただきます。
- 研修会場内の空調管理はおこないますが、各自、衣類等で調整できるようご準備ください。

令和6年度（通算第69回）学生生活指導部課長相当者研修会日程（予定）

メインテーマ：「いま私たちがやるべき学生支援とは（パートⅡ）」

－いかに多様化する学生のニーズに対応するか－

【主催】 一般財団法人 私学研修福祉会

【協力】 日本私立大学協会

【日程】 令和6年7月3日（水）～4日（木）

【会場】 浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室

【TEL】 053-459-0111

- ◆本年度の研修会は、「いま私たちがやるべき学生支援とは（パートⅡ）」をメインテーマとし、全体研修や班別研修を通じて、多様化する学生のニーズにどのように対応していくかについて理解を深めるとともに、各大学の対応や今後などについて協議・研修をいたします。
- ◆各大学の建学の精神に基づく学生の人間力の育成などを目指し、学生指導をしている教職員が自らの人生観を磨くことで、学生の元気を引き出す方法や学生生活を支えるための考え方の一助となることを期待いたします。

【第1日目】 7月 3日（水）13時00分～20時00分

12:00	◎ 受 付
13:00	一、開 会：日本私立大学協会常務理事・事務局長 小 出 秀 文
～	日 本 私 立 大 学 協 会 常 務 理 事
13:20	二、挨拶：学生生活指導研究委員会担当理事 木 宮 健 二 常 葉 大 学 理 事 長
13:20	三、リインテーンション：事務局
13:20	四、報告および研修
～	1. 概説「私立大学を取り巻く現状と課題」（40分） 解説者：日本私立大学協会常務理事・事務局長 小 出 秀 文
14:00	2. 講演「学生支援制度に関する現状と今後について」（仮題）（60分） 講 師：文部科学省高等教育局学生支援課長 桐 生 崇 氏
～	⇒最近の高等教育政策の全般に関して、特に「合理的配慮の提供」や「高等教育の修学支援新制度」など、学生支援制度の現状と今後についてご講演いただく。
15:00	
	休憩・会場移動（30分）

15:30 ～ 18:00	<p>3. 班別研修Ⅰ（2時間30分）</p> <p>「班別研修の班編成」</p> <p>班別研修は、以下の4つの班による構成とし、1班20～25名前後を原則とします。ただし、希望人数の関係で同系列の班を複数としたり、合同としたりする場合があります。</p> <p>なお、諸準備の関係から申し込み後、また、研修会当日の班の変更には応じられませんので、あらかじめご了承ください。</p> <p>(1) 総合系 (2) 文系 (3) 理系 (4) 医療系</p> <p>「協議テーマ」</p> <p>班別研修における協議テーマとして、5つのテーマを設けておりますので、参加申し込みの際、アンケートへのご回答をお願い申し上げます（記入内容に関して、後日、運営委員より連絡させていただく場合がございます）。</p> <p>①メンタルヘルス・合理的配慮 ②経済的支援 ③課外活動支援（仲間づくり・居場所づくり・思い出づくり） ④ドロップアウト対策 ⑤危機管理（カルト・薬物・闇バイト）</p>
	休憩・会場移動（30分）
18:30 ～ 20:00	◎情報交換会（立食形式）（1時間30分）

【第2日目】 7月 4日（木） 9時00分～15時50分

9:00 ～ 12:00	<p>4. 班別研修Ⅱ（3時間）</p> <p>前日に引き続き、協議・情報交換を行います。</p>
	昼食休憩・会場移動（60分）
13:00 ～ 13:50	<p>5. 講演「ジェンダーギャップを克服するために」（仮題）（50分）</p> <p>講師：独立行政法人国立女性教育会館理事長 萩原 なつ子 氏 ⇒多様性をテーマに、ジェンダーの諸問題に対して高等教育機関として行うべきことの具体的な事例と改善提案についてご活動や、ご経験を踏まえたご講演をいただく。</p>
	休憩（15分）
14:05 ～ 15:35	<p>6. 講演「障害のある学生の受入れと合理的配慮」（仮題）（90分）</p> <p>講師：AHEAD JAPAN 理事 神藤 典子 氏 ⇒合理的配慮について、現場における対応や大学の支援体制などの具体的な事例について取り組まれてきたことや、ご経験を踏まえたご講演をいただく。</p>
15:40 ～ 15:50	五、閉会の挨拶：学生生活指導研究委員会担当理事 木宮 健二